

令和4年度第2回宗像市介護保険運営協議会

議事録

日時	令和4年11月10日(木)午後6時30分～午後7時25分	
会場	宗像市役所103会議室(北館1階)	
出席者	委員 (五十音順)	岡山委員【副会長】、鴨川委員、木村委員、坂元委員、関岡委員、長谷川委員、花田委員、姫野委員、平田委員、本郷委員、三宅委員【会長】、矢島委員
	事務局	林田健康福祉部長、山倉保険医療担当部長、福嶋介護保険課長、山口高齢者支援課長、花田福祉課長、西川健康課長、副田高齢者サービス係長、山本健康サポート係長、倉富健診係長、浪瀬介護保険係長、安川審査指導係長、大楠介護認定係長、小林介護保険係主任主事
会議次第	1. 開会 2. 会長挨拶 3. 議題 (1) 審議事項 第9期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定支援業務委託業者選定委員の選出について (2) 報告事項 健康福祉部の体制について 4. その他 ① 第9期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定スケジュールについて、第9期在宅介護実態調査について ② 勉強会「データから見える宗像医療圏の在宅医療と介護」 講師：医師 富岡 慎一 氏 (在宅医療支援診療所 医療法人コールメディカルクリニック福岡) 5. 閉会	

1. 開会

【事務局】

定刻になりましたので、ただいまより令和4年度第2回介護保険運営協議会を開催いたします。本日は、お忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日の進行を担当させていただきます介護保険課の福嶋です。よろしくお願いいたします。

まずは、事前に配付しております資料の確認ですが、資料1「宗像市健康福祉部機構図」、資料2「第9期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定スケジュール(予定)」です。あと、本日配付しております資料が3部で、資料2-1「第9期在宅介護実態調査について」、「データから見える宗像医療圏の在宅医療と介護」、「第8期宗像市介護保険運営協議会委員構成表」です。お手元にごございますでしょうか。よろしいですか。

開会の前に、委員の交代についてご報告がございます。山崎委員が辞任され、後任といたしまして、花田委員に就任いただいております。花田委員から一言ご挨拶をお願いいたします。

<花田委員挨拶>

【事務局】

ありがとうございます。本日は新型コロナウイルス感染症予防対策として、窓を少し開けさせていただいております。ご了承の程よろしくお願いいたします。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。<1. 開会>でございます。

本日の欠席者は、事前に連絡をいただいております中村委員と藤城委員の2名でございます。あと坂本委員につきましては、少し遅れられている状況です。したがって、委員の過半数以上のご出席をいただいておりますので、宗像市介護保険運営協議会規則第5条第3項により、定足数を満たしておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。

次に、議事録署名委員の選任でございます。議事録署名委員は名簿順によりまして、今回は鴨川委員となっております。どうぞよろしくお願いいたします。

2. 会長挨拶

【事務局】

続きまして、<2. 会長挨拶>。三宅会長、お願いいたします。

【会長】

皆様こんばんは。そろそろ、第9期の事業計画の策定に着手する時期がやってきました。今回の運営協議会では、計画策定にあたりご審議いただきたい項目が1項目、報告事項が1項目、その他が2項目となっております。よろしくお願いいたします。

3. 議題

(1)審議事項

第9期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定支援業務委託業者選定委員の選出について

【会長】

では早速ですが、議題に入ります。まず、<(1)審議事項 第9期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定支援業務委託業者選定委員の選出について>。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

今年の4月1日付けの人事異動で、介護保険課介護保険係の係長となりました浪瀬と申します。第9期事業計画策定の担当をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

第9期事業計画の策定にあたりましては、計画の策定支援や、調査の実施、分析などの業務を専門の調査機関であるコンサル業者に委託することとしております。選定委員会とは、委託業者をプロポーザル方式で選定するための委員会となります。委員会の委員の構成としましては、宗像市の健康福祉部長、保険医療担当部長ほか計7名に加えて、当協議会から1名、委員の選出をいただくことになっております。

委員の役割として、プロポーザルの実施要領や仕様書などの審査に1回、プレゼンテーション・選考に1回、計2回開催する委員会に出席していただき、業者選定について審議していただくことになります。本日は、委員の選出をいただきたいと考えております。説明は以上です。

【会長】

事務局から委員の選出依頼がありましたが、どなたか委員に立候補、ないしはご推薦なさる方はいらっしゃいますでしょうか。

<立候補、推薦なし>

【会長】

ないようですので、事務局から提案をお願いします。

【事務局】

当協議会の会長である三宅会長にお願いすべきところではありますが、選定委員会は平日の日中に実施します。2回目の業者のプレゼンテーション・選考では複数社の提案を確認して選定するため、ほぼ1日かかるようになっていきます。そのため、会長にお願いすべきところですが、事務局からの

推薦という形で、副会長の岡山委員を推薦させていただきたいと思っております。この点についてご審議、ご了承をお願いいたします。

【会長】

事務局から岡山副会長の推薦がありましたが、皆様ご意見はいかがでしょうか。

<意見なし>

【会長】

特に意見がなければ、岡山副会長、よろしゅうございますか。

【副会長】

はい。

【会長】

ありがとうございます。それでは、選定委員会の委員に岡山副会長を選出することで、皆さんよろしいでしょうか。

<委員承認>

【会長】

それでは決定いたします。岡山副会長、よろしく申し上げます。

(2)報告事項

健康福祉部の体制について

【会長】

次に、<(2)報告事項 健康福祉部の体制について>。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

お手元の資料1「宗像市健康福祉部機構図」をご覧ください。健康福祉部の組織、体制については、資料に記載のとおりとなっております。名前に下線を引いている者が、10月1日付けで異動となっておりますので、ご確認をお願いいたします。説明は以上です。

【会長】

何か質問はよろしいですか。

<質疑なし>

4. その他

①第9期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定スケジュールについて、第9期在宅介護実態調査について

【会長】

それでは、4. その他に参ります。<①第9期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定スケジュールについて、第9期在宅介護実態調査について>。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

第9期事業計画の策定スケジュールと在宅介護実態調査について説明させていただきます。

まず、資料2「第9期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定スケジュール(予定)」をご覧ください。第9期計画の策定スケジュールとして、現段階で予定している大まかなスケジュールを示させていただきます。現在、国の審議会等で介護保険制度の制度改正についての議論がなされているところです。年内には方針が決定し、年明けには第9期の基本的方針が示される予定となっております。これに先立ちまして、各種調査等に関する説明会が開催され、策定に向けて準備を進めております。本日配付しているスケジュールですが、年内に計画策定支援事業者を選定しまして、2月頃に開催予定の第3回運営協議会において、計画策定の諮問と、概要・方法を説明させて

いただき、令和5年度の運営協議会で具体的な内容を審議していただく予定となっております。したがって、令和5年度の運営協議会につきましては、例年以上に頻繁に開催させていただくこととなります。また、スケジュールでは、令和5年度中に6回の開催を予定しておりますが、審議の状況によっては、追加で開催させていただく場合もございますので、ご理解とご協力の程よろしくお願いたします。

次に、本日配付しました資料2-1「第9期在宅介護実態調査について」をご覧ください。本調査は、高齢者の適切な在宅生活の継続と介護者の就労継続の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的に実施します。

調査の対象者につきましては、在宅で生活をしている要支援・要介護認定者のうち、更新申請または区分変更申請に伴う認定調査を受けられる方が対象となっております。要支援・要介護認定を受けてない方、施設に入所・入居されている方などは、調査の対象外となっております。調査の方法としましては、市直轄の認定調査員と市社会福祉協議会の認定調査員が、訪問調査の際に併せてアンケート調査を実施します。調査内容につきましては、次ページ以降に実際の調査票をつけておりますが、これは国が示す調査表で、前回の第8期計画策定時の調査票と変更はありません。認定調査員が概況調査と並行して記入するA票と、主な介護者または本人にご回答いただくB票の構成となっております。国が示す目標件数は600件となっておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染状況等によっては、調査件数が目標に満たない場合も考えられます。そのため、目標件数に満たない場合は、郵送調査を実施する予定としております。調査期間を来年の3月31日までとしており、11月中旬から調査を開始していきます。調査結果については、後日、認定データと関連づけて分析を行うこととしております。

以上、簡単ではございますが、策定スケジュールと在宅介護実態調査の説明となります。

【会長】

ありがとうございます。何か、ご質問ご意見ありますか。よろしいですか。

<質疑なし>

②勉強会「データから見える宗像医療圏の在宅医療と介護」

講師：医師 富岡慎一氏（在宅医療支援診療所 医療法人コールメディカルクリニック福岡）

【会長】

次に、<②勉強会「データから見える宗像医療圏の在宅医療と介護について」>。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

本日は、「データから見える宗像医療圏の在宅医療と介護」というテーマで、コールメディカルクリニック福岡の富岡慎一先生にお話しいただきます。富岡先生は、産業医科大学の公衆衛生学教室などを経まして、現在は、宗像市公園通りにあります訪問診療・在宅医療の専門医院コールメディカルクリニック福岡でご活躍されています。

本市では福津市と一緒に、介護保険制度の中の地域支援事業において、地域の医療・介護関係者による会議の開催、在宅医療・介護関係者の研修等を行い、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制の構築を推進する事業を行っています。昨年度、当該事業の分析・評価を富岡先生に行っていただきました。この分析・評価にあたっては、あらゆるデータを駆使して、様々な状況が分かりやすく読み取れるようにしていただきました。

今回、このデータから見える本市の課題をご説明いただき、宗像市の在宅医療と介護の現状を委員の皆様にご覧いただき、先程説明させていただきました第9期事業計画を検討していくうえで、皆様のご参考になればと考えています。それでは、富岡先生、よろしくお願いたします。

<富岡講師による説明>

<質疑応答>

【講師】

何かご質問や不明な点、分かりにくかったところなどありましたら、お願いします。

【委員】

宗像市は在宅の介護力が高いというお話が出ていましたが、データを見ていて、比較的収入が高い高齢者が多く、健康で元気で介護度が低いということは分かりますが、それがどうして介護力が高いということに繋がるのかということが分からなかったので、何か統計があれば教えていただければと思います。

【講師】

ありがとうございます。このデータで、単身で独居の高齢者が少ないということが統計的にみて分かるということと、正直なところ半分以上は現場感覚になります。先程例を挙げましたが、褥瘡の方が少なかったり、実際に在宅医療を行っていて患者さんのご自宅に伺った時に、多くの家庭でやはりご家族が診察の時に同席して下さることが非常に多いと3年間程宗像市で働いて感じており、家族の介護力が高いと思っています。もし、そうではないというご意見があれば、それも事実だと思います。

【委員】

本当に細かいデータ分析、分かりやすい説明をありがとうございました。興味深かったことが51ページのスライドです。宗像市は元気な高齢者が多い地域ということですが、たまたまかもしれません。宗像市、福津市、古賀市と近隣の市町村が元気な高齢者が多くなっています。高齢化率が高い地域であったり家族の介護力が高いということだと思いますが、近隣の市町村が固まっているのが非常に興味深かったです。先程説明があったこと以外に、例えばインフォーマルなサービスが充実しているなど元気な高齢者が多いという他の理由で、思い当たる理由があれば教えていただきたいです。

【事務局】

実際接していく中で感じることでありますが、経済力とセットになるかと思いますが、例えば宗像市内であればくりえいとに「リフレ」があり、高齢者が自費で健康づくりに投資しているケースが多いと聞いています。「リフレ」は健康づくりや健康寿命の延伸のために貴重な施設であると思っており、施設をお願いして各地域包括支援センターの職員に実際に体験してもらい、地域包括支援センターに相談にこられた方に選択肢の一つとして紹介できるような取り組みをしています。福津市や古賀市にもそういった社会資源があるのかは分かりませんが、それが他の理由の一つではないかと考えられます。また、感覚的にはなり、これも経済力に関係することかもしれませんが、少しでも体調が悪いと感じたらすぐに病院に行くということも理由の一つではないかと考えられます。根拠となる具体的な数値はありませんが、高齢者支援課や地域包括支援センターで仕事をしていく中で、医療機関にかかりやすい環境にあるのではないかと感じています。

【委員】

ありがとうございます。とてもいい地域に住んでいて嬉しく思います。

【会長】

折角の機会ですので、他にご質問、ご意見ありませんでしょうか。

【委員】

今回の分析結果の中で、先生に説明していただいたように介護職の人手不足について、現場としては非常に苦しい状況にあります。特養施設長が集まる会議でも出てくるのは、人が足りないということです。特に、私共の施設では本年度から技能実習生としてミャンマーの方に来ていただいています。

す。宗像市内の特養では半分以上が外国からの労働者に頼り始めているのが現状です。これだけ労働者人口が減っていく中で、高齢化率が上がってきていることはやはり労働者人口が減っていくことが確定しているので、是非この調査結果を有効に使っていただいて、介護の世界で働く人が働きやすい環境を作っていただければと思います。よろしくお願いいたします。

【会長】

他によろしいでしょうか。それでは、先生、本当に詳細な分析と興味深いお話をありがとうございました。事務局から何か他にありますでしょうか。

【事務局】

次回の開催についてです。スケジュールにお示しましたとおり、来年の2月を目途に開催させていただきます。次回開催の際に、計画策定の諮問をさせていただいて審議に入っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。また、事前に日程調整等させていただきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

5. 閉会

【会長】

ありがとうございます。他に何もなければこれで閉会といたします。お疲れ様でございました。